

2017年3月期 第2四半期決算説明会

2016年11月9日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<http://www.nihonkohden.co.jp>

第2四半期決算の概要 (連結)



1) 当第2四半期の決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前第2四半期 累計 (2015/9)	当第2四半期累計(2016/9)			
		期初予想	8月1日 修正予想	実績	対前年同期 増減率(%)
売上高	73,498	78,000	75,000	74,463	1.3
国内売上高	53,285	-	-	55,876	4.9
海外売上高	20,213	-	-	18,586	△ 8.0
営業利益	4,219	4,500	3,700	3,834	△ 9.1
経常利益	4,401	4,500	2,800	2,689	△ 38.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,516	2,900	1,800	1,683	△ 33.1

← 為替影響除く: +4%

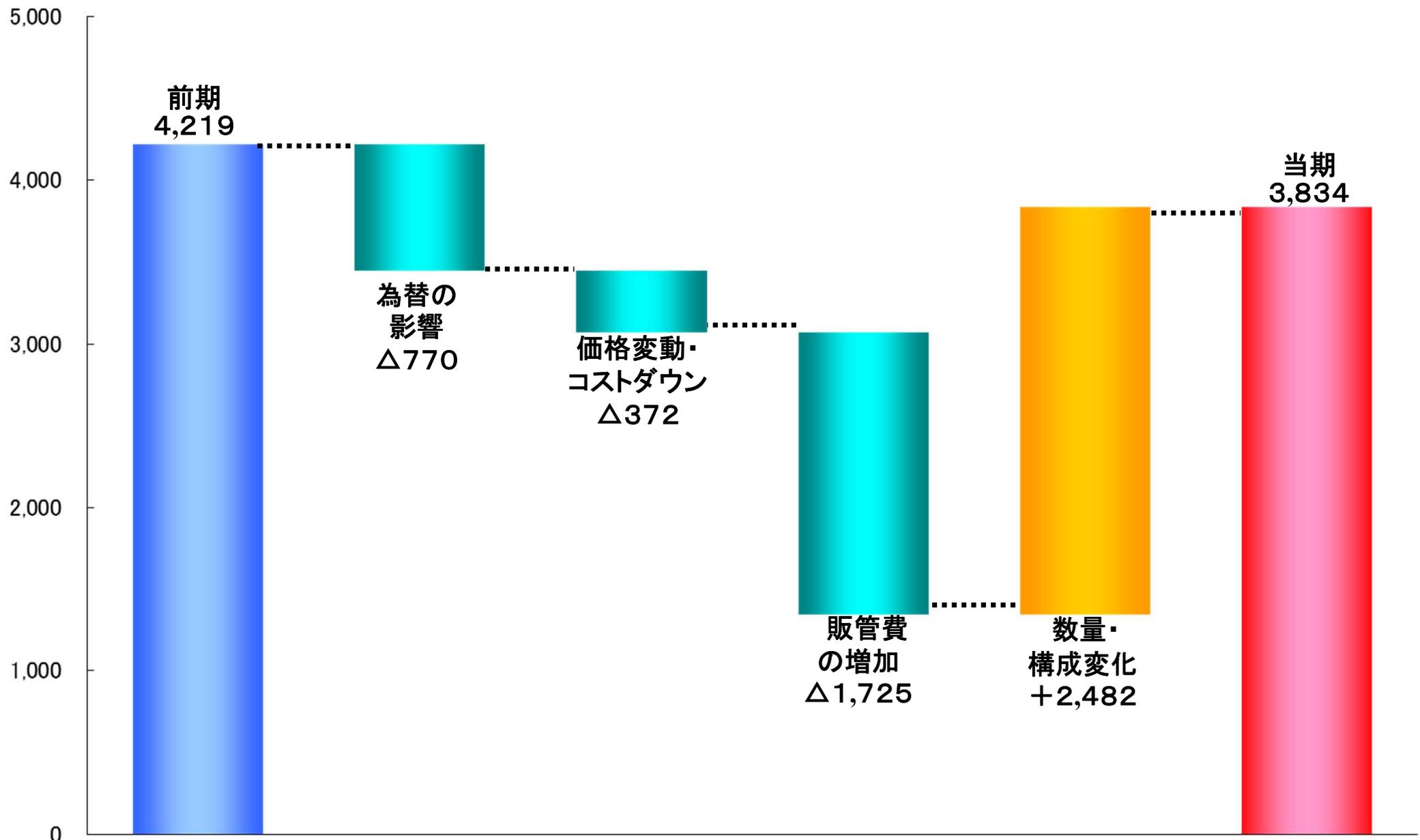
← 粗利率: 2015/9 48.3% → 2016/9 48.1%
 販管費率: 42.6% → 43.0%

← 為替差損: 2015/9 78百万円 → 2016/9 1,510百万円

平均レート	(2015/9)	(2016/9)
1ドル	121.6円	107.6円
1ユーロ	135.0円	119.9円

2) 営業利益増減の要因分析

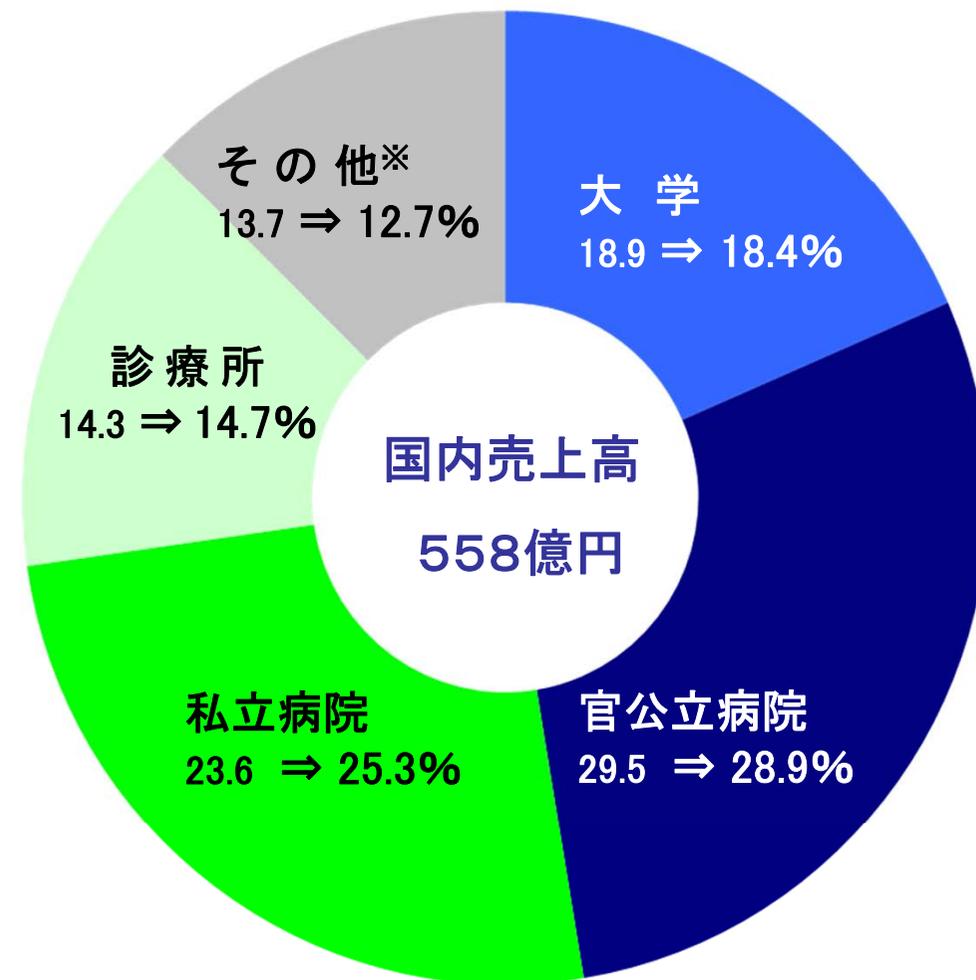
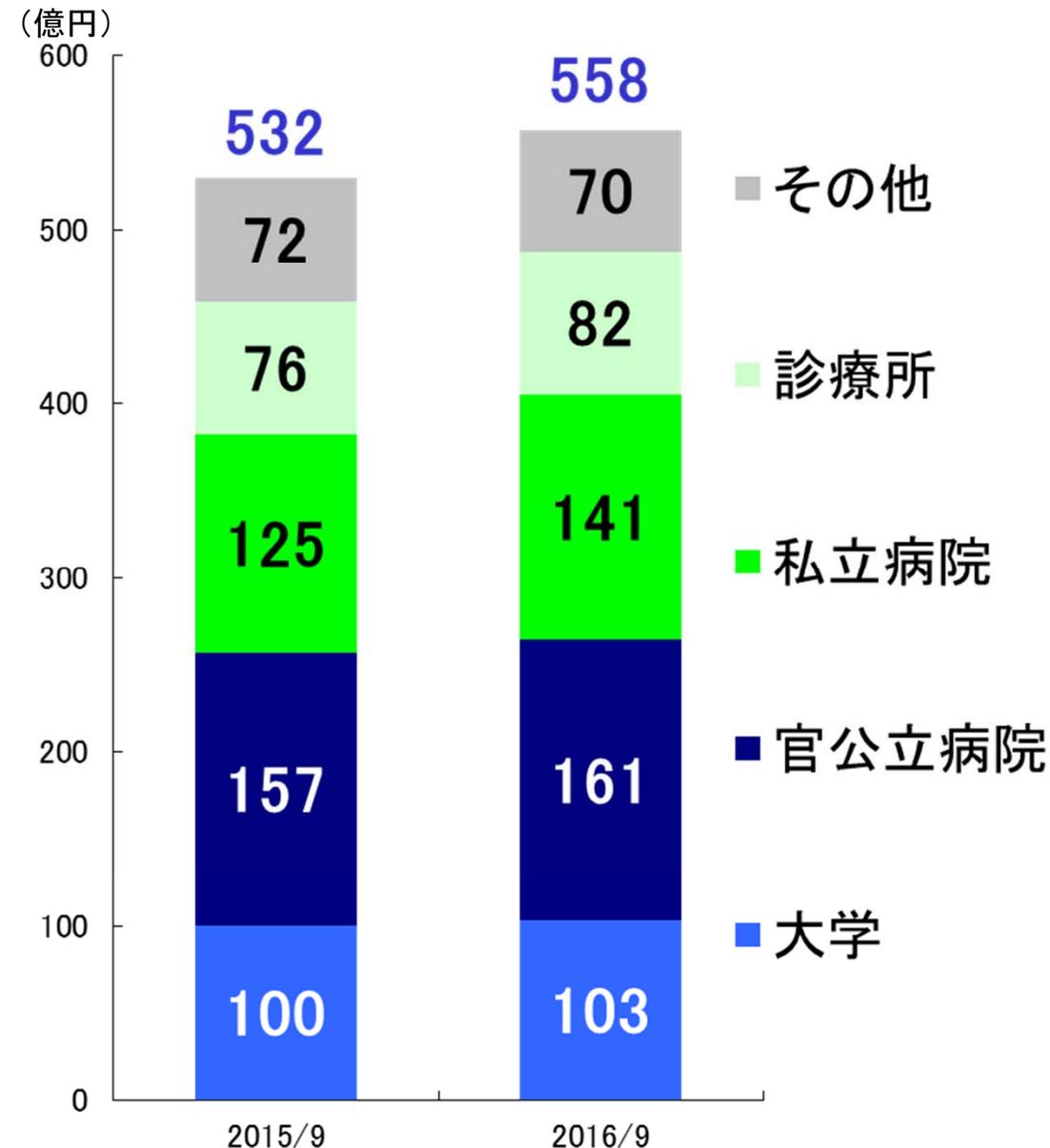
(単位: 百万円)



3) 国内売上高

【市場別売上高】

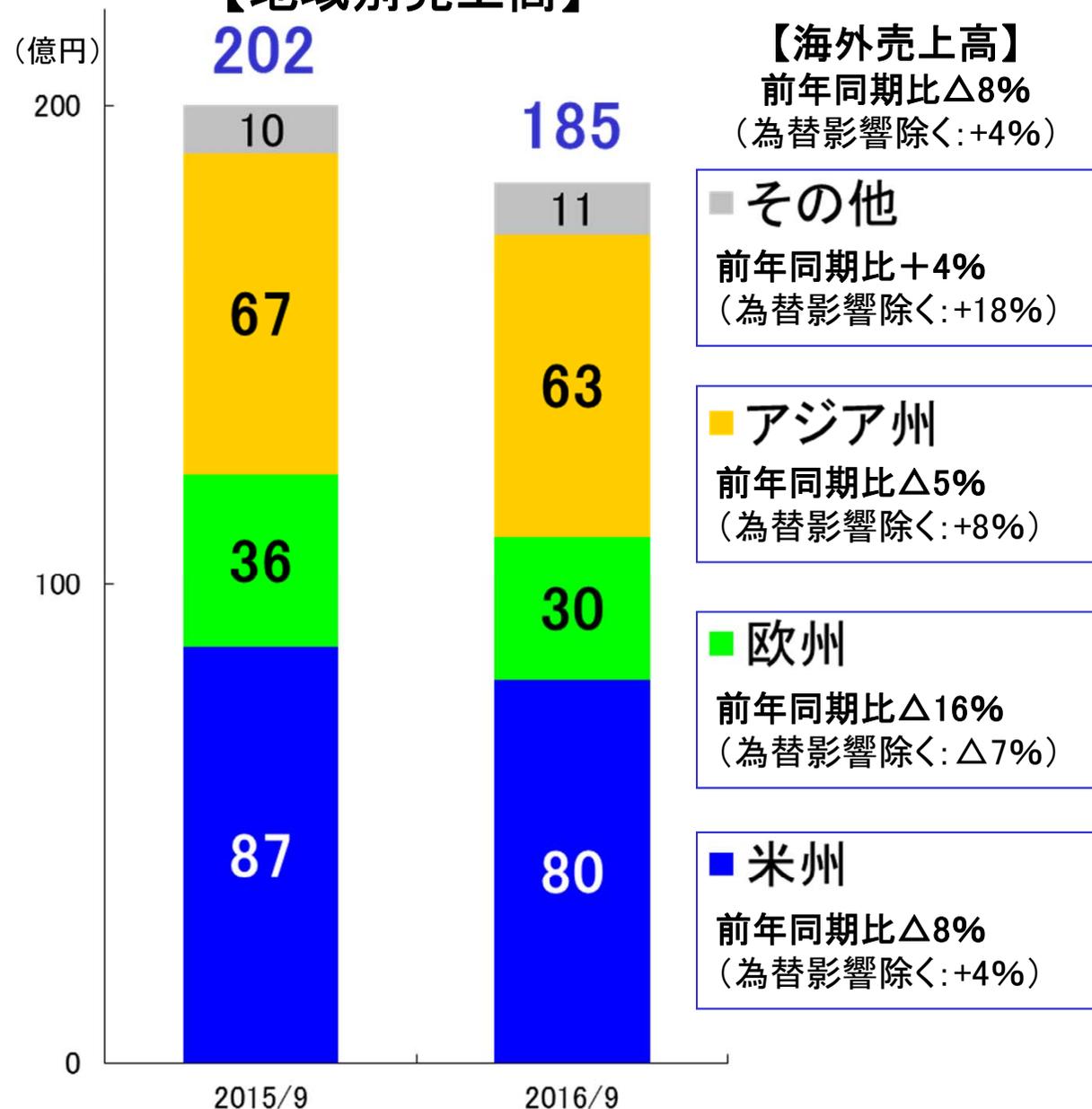
市場別売上構成比
(2015/9⇒2016/9)



※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

4) 海外売上高

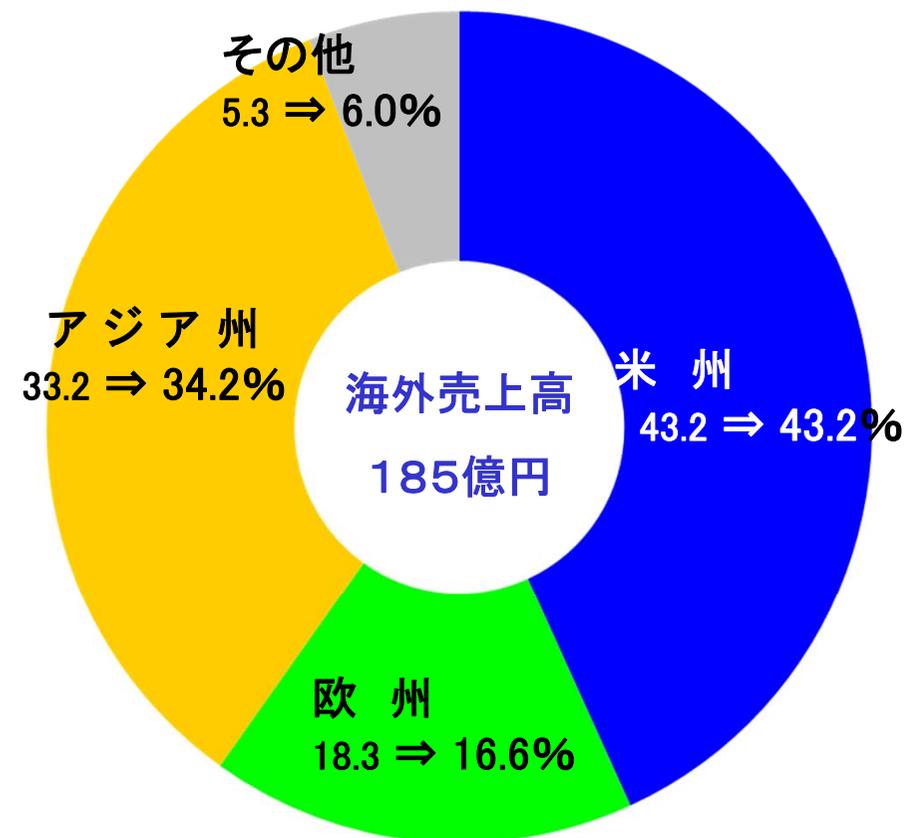
【地域別売上高】



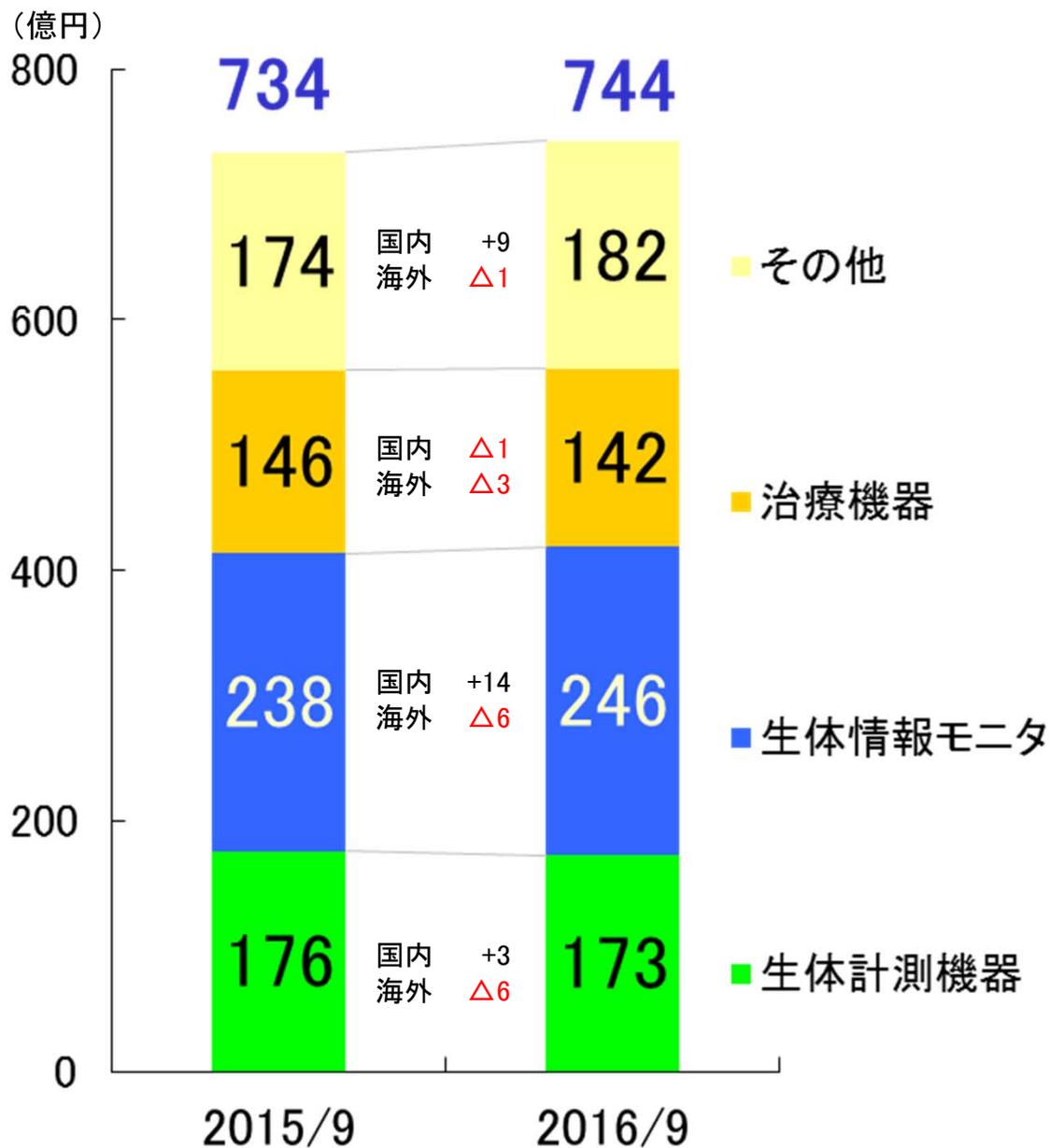
海外売上高比率

2015/9	2016/9
27.5%	25.0%

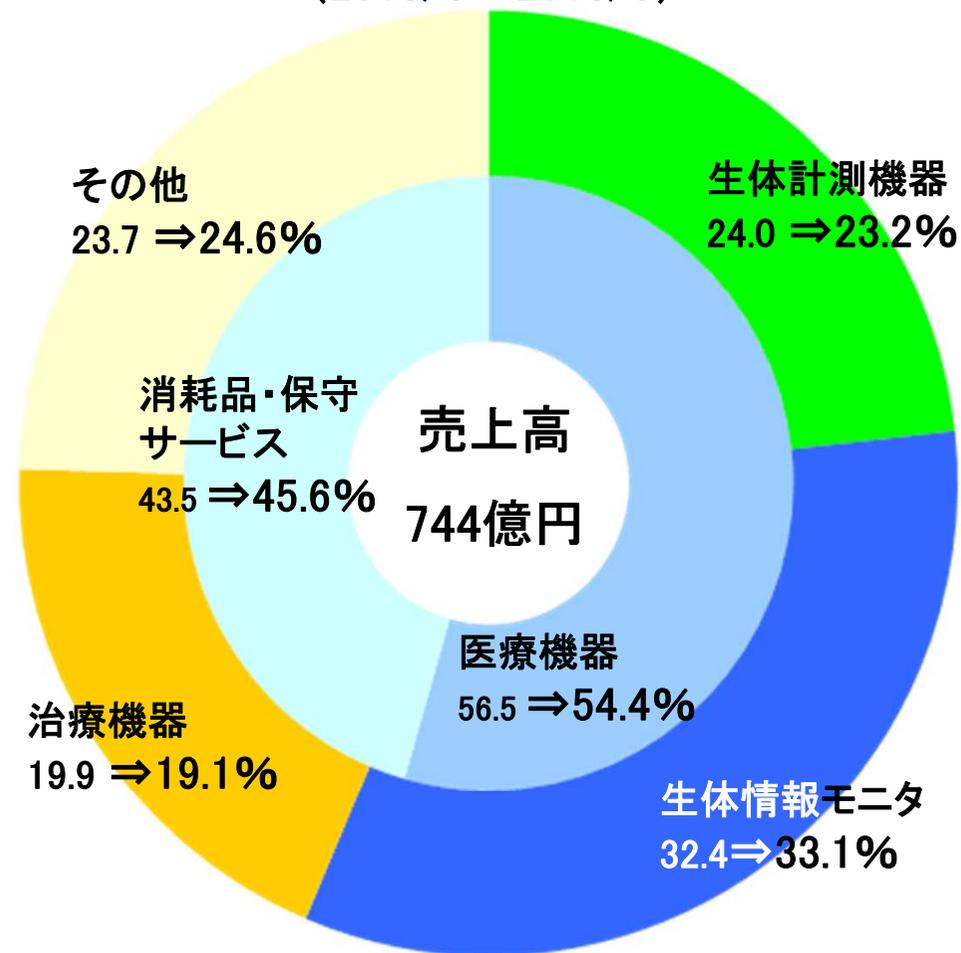
地域別構成比
(2015/9⇒2016/9)



5) 商品群別売上高



商品群別売上構成比
(2015/9⇒2016/9)



5.1) 生体計測機器

(単位: 百万円)

	前第2四半期 累計(2015/9)	当第2四半期 累計(2016/9)	増減率(%)
脳神経系群	3,812	3,335	△ 12.5
心電計群	3,405	3,145	△ 7.6
心臓カテーテル検査装置群	5,313	6,101	14.8
その他(診断情報システム等)※	5,080	4,719	△ 7.1
生体計測機器合計	17,611	17,302	△ 1.8
うち国内売上高	13,213	13,536	2.4
うち海外売上高	4,397	3,765	△ 14.4

← 国内・海外ともに前年同期を下回る

← 国内・海外ともに前年同期を下回る

← 【国内】電極カテーテルの売上が伸長

※診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。



脳波計 EEG-1250



心電計 ECG-2300



臨床用ポリグラフ RMC-5000

5.2) 生体情報モニタ

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2015/9)	当第2四半期 累計(2016/9)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	23,804	24,667	3.6
うち国内売上高	14,669	16,079	9.6
うち海外売上高	9,135	8,588	△ 6.0

- 官公立、私立病院市場を中心に、送信機、ベッドサイドモニタが好調
- ・米州は前年同期並み
・欧州、アジア州で前年同期を下回る



ベッドサイドモニタ
CSM-1901



医用テレメータ
WEP-5250シリーズ



バイタルサインテレメータ
GZ-130P



SpO₂プローブ CO₂測定用酸素マスク 心電図電極

消耗品関連

5.3) 治療機器

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2015/9)	当第2四半期 累計(2016/9)	増減率(%)
医科向け除細動器	2,640	2,197	△ 16.8
A E D	6,951	6,484	△ 6.7
ペースメーカー・ICD	1,431	1,541	7.7
人工呼吸器	644	958	48.7
その他	2,977	3,051	2.5
治療機器合計	14,645	14,233	△ 2.8
うち国内売上高	10,348	10,275	△ 0.7
うち海外売上高	4,296	3,958	△ 7.9
(参考)AED販売台数	42,900	41,200	△ 4.0
うち国内販売台数	25,300	21,800	△ 13.8

- ← 国内・海外ともに前年同期を下回る
- ← 【国内】更新需要の鈍化により低調
【海外】微増。欧州、アジア州で好調
- ← 【国内】病院新設に伴う新規受注



New!



除細動器
TEC-5600シリーズ

AED-3100

心臓ペースメーカー
Zenex MRI

人工呼吸器
HAMILTON-C1

麻酔器
Leon plus

5.4) その他

(単位: 百万円)

	前第2四半期 累計(2015/9)	当第2四半期 累計(2016/9)	増減率(%)
検体検査装置	5,073	5,277	4.0
画像診断装置、 研究用機器他 [※]	12,363	12,981	5.0
その他合計	17,437	18,258	4.7
うち国内売上高	15,053	15,985	6.2
うち海外売上高	2,383	2,273	△ 4.6

【国内】私立病院、診療所市場が好調
 【海外】微減。米州、欧州で好調。新商品も寄与

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

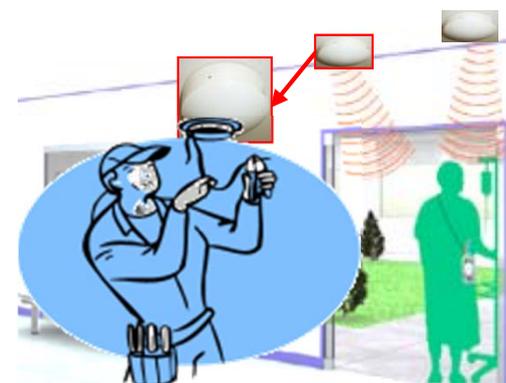
New!



全自動血球計数器
MEK-9100



臨床化学分析装置
CHM-4100



設置工事・保守サービス

6) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 2016/3	当第2四半期末 2016/9	増減額
流動資産	112,929	100,087	△ 12,841
固定資産	31,340	33,397	2,056
資産合計	144,270	133,485	△ 10,785
流動負債	42,901	33,240	△ 9,661
固定負債	3,697	4,615	918
負債合計	46,599	37,856	△ 8,742
純資産	97,671	95,628	△ 2,042
負債・純資産合計	144,270	133,485	△ 10,785

7) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2015/9)	当第2四半期 累計(2016/9)	2016/3 前期実績	2017/3予想	
				期初	11月4日修正
設備投資額	2,873	4,758	6,678	10,000	9,000
減価償却費	1,596	1,548	3,459	4,000	3,400
研究開発費	2,616	2,958	5,910	7,300	6,500

●設備投資の上期実績

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、所沢 総合技術開発センターの建設、朝霞事業所の建設

●2017/3期計画における主な案件

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、富岡第二工場改修工事、本社(西落合事業所)改修工事

所沢 総合技術開発センターの建設 { 完成・移転:2016年10月
設備投資額:72億円 < 2016/3:34億円
2017/3:38億円

朝霞 事業所の建設(免疫試薬部門の移転) { 完成・移転:2016年冬
設備投資額:約11億円 < 2016/3:2億円
2017/3:9億円

8) 本社機能の移転・集約

技術開発部門・関連部門は
埼玉県所沢市に移転・集約
(2016年10月)



総合技術開発センター

所沢事業所



本社(西落合事業所)

東中野事業所

本社管理部門は本社
(西落合事業所)に統合・移転
(2016年12月予定)



通期の業績見通し

1) 経営環境

国内

2025年医療・介護の将来像

- ・医療の機能分化・強化と連携
- ・地域包括ケアシステムの推進

・2016年4月 診療報酬改定 本体0.49%増

【急性期】重症患者割合の変更(15%→25%)
手術・救急医療の評価

【診療所】主治医機能の評価

・地域医療介護総合確保基金 2016年度904億円(医療)

各都道府県は、地域医療構想を策定
(法律上は2018年3月までだが2016年半ばまでが望ましい)

環境変化を受け、病院の設備投資は緩やかに回復、
診療所市場では需要は堅調に推移

海外

米国

- ・オバマケアの推進
- ・IDN※の増加・拡大

欧州

- ・緩やかな景気回復、英国のEU離脱問題

新興国

- ・一部地域で通貨安や原油安の影響で
景気減速懸念
- ・経済発展に伴う医療インフラ整備

医療機器の需要は底堅く推移

2) 下期の取り組み

国内事業

市場別営業の推進

大学、官公立
病院市場

下期に予算執行が集中する
大口商談の確実な獲得

私立病院、
診療所市場

新商品の投入により、
新規顧客開拓を推進

海外事業

米国

大口モニタ商談対応のため、
NKUSラボの開発体制を強化

新興国

- ・検体検査機器事業の強化
- ・民間病院市場に注力

収益改善策

自社製消耗品の売上拡大

SpO₂/CO₂センサ、NIBP測定用ディスプレイカフの販促に注力するとともに、コストダウンを推進

短納期商談への対応強化

海外子会社にERP/CRMシステムを導入し、受注予測精度を向上

経費コントロールの強化

将来の成長に必要な投資を行いつつ、各社・各部門での経費管理を徹底

3) 通期の業績見通し

(単位:百万円)

	2016/3 前期実績	2017/3予想		増減率 (%)
		期初	11月4日修正	
売上高	165,522	175,000	170,500	3.0
国内売上高	121,989	127,000	126,300	3.5
海外売上高	43,533	48,000	44,200	1.5
営業利益	16,438	17,500	17,000	3.4
経常利益	16,116	17,500	16,000	△ 0.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,516	11,500	10,700	1.7

海外売上高比率 26.3% 27.4% 25.9%

平均レート

1ドル	120.1円	109円	104円
1ユーロ	132.4円	123円	116円

← 為替影響除く: +16.5%

【地域別海外売上高】

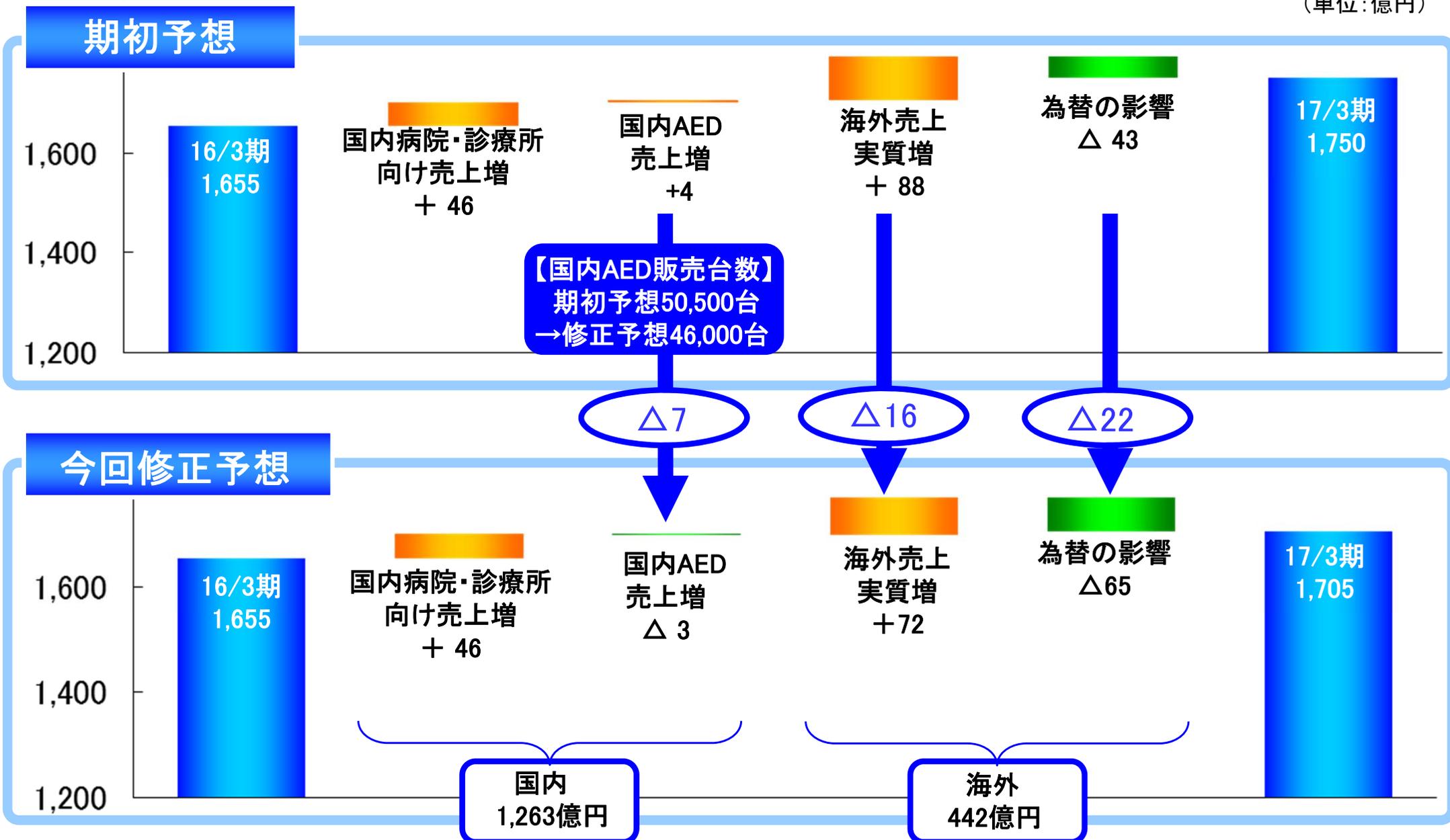
	2016/3 前期実績	2017/3予想		増減率(%)
		期初	11月4日修正	
米州	19,455	21,300	19,900	2.3
欧州	8,084	8,700	7,700	△ 4.8
アジア州	13,877	15,700	14,200	2.3
その他	2,115	2,300	2,400	13.5

(下期)

101円
113円

4) 売上見通しの要因分析

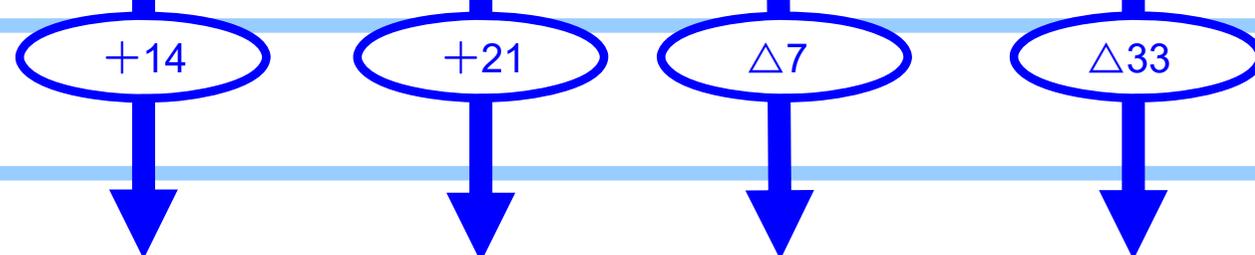
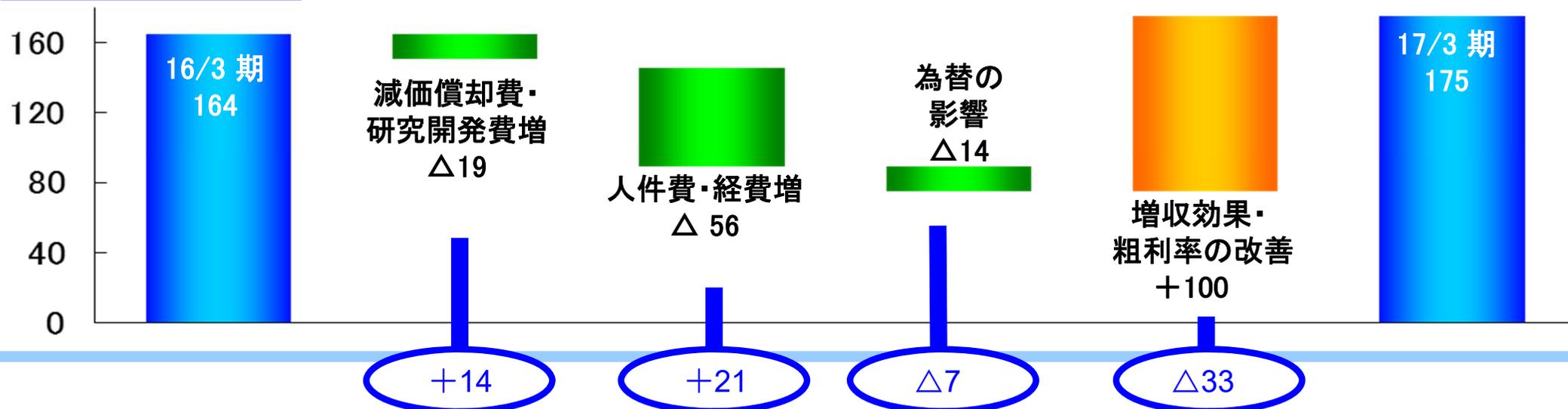
(単位: 億円)



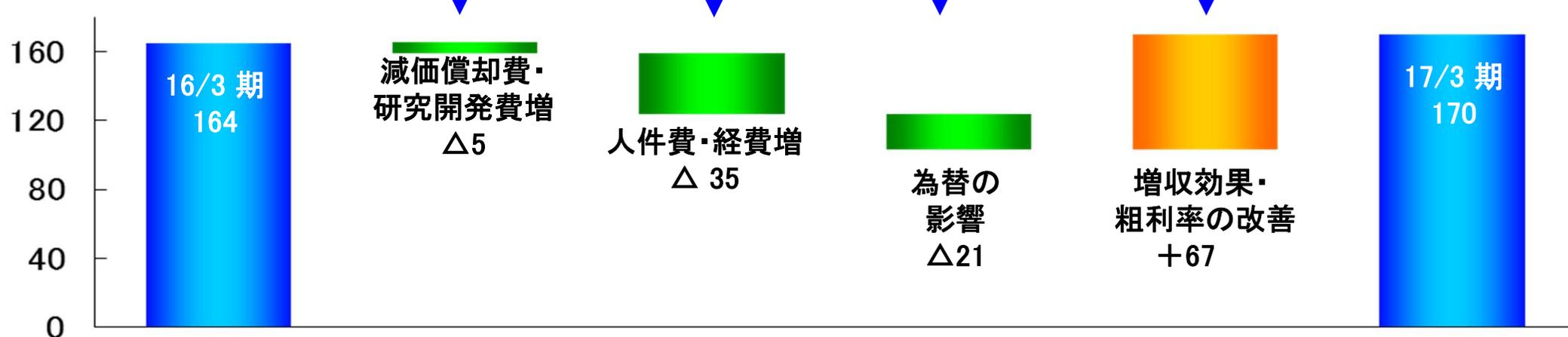
5) 営業利益見通しの要因分析

(単位: 億円)

期初予想



今回修正予想



[参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	2016/3 前期実績	2017/3予想		増減率(%)
		期初	11月4日修正	
生体計測機器	39,218	40,800	39,600	1.0
生体情報モニタ	54,823	59,250	57,900	5.6
治療機器	30,611	32,600	30,700	0.3
その他	40,868	42,350	42,300	3.5
売上高合計	165,522	175,000	170,500	3.0
(ご参考)				
消耗品・保守サービス	67,684	72,400	71,900	6.2



当社の経営戦略

1) 長期ビジョンと中期経営計画

長期ビジョン (2010/4~2020/3)

The CHANGE 2020

-The Global Leader of Medical Solutions-

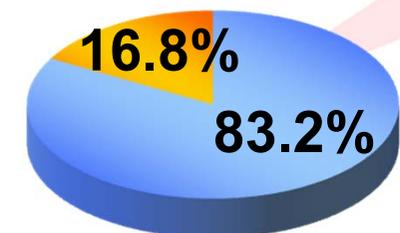
第2ステージ (2013/4~2017/3)

Strong Growth 2017

第1ステージ

SPEED UP III

(2010/4~2013/3)



2013年3月期 (実績)

売上高 1,325億円
 営業利益 134億円
 営業利益率 10.2%
 ROE 12.7%

2017年3月期 (目標値)



売上高 1,820億円

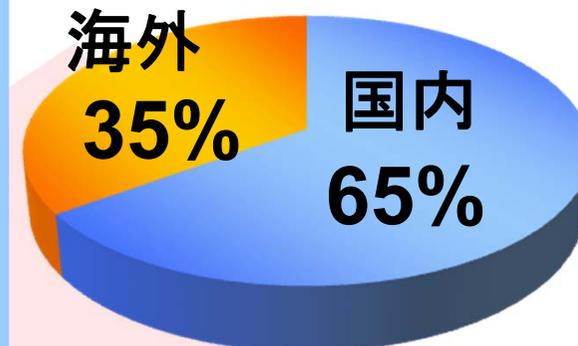
営業利益 200億円

営業利益率 11.0%
 ROE 13.5%

2017年3月期 (修正予想)

売上高 1,705億円
 営業利益 170億円
 海外売上高比率 25.9%

2020年3月期 (目標値)



売上高 2,000億円以上

営業利益 250億円以上

営業利益率 12.5%

2) 中期経営計画 重要課題

世界トップクオリティの追求

グループ全部門の
全ての活動で品質を確保

技術開発力の強化

地域別事業展開の強化

コア事業のさらなる成長

新規事業の創造

企業体質の強化

グローバル化・効率性/収益性・スピード
を追求した経営

3) 2017年3月期の取り組み

① 地域別事業展開の強化

日本: 2025年医療・介護の将来像に合ったソリューションの構築

高度急性期
急性期

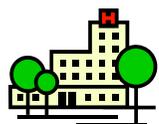
回復期

慢性期

診療所

在宅ケア

2016年4月市場別に営業組織体制を再編



病院営業

GP※営業



急性期向け・地域包括ケア(回復期・慢性期・診療所)向けの商品開発



新規事業の推進

■ 遠隔医療支援システムの開発
2016年度以降発売予定

■ ひとり暮らし高齢者向け健康みまもりサービス

SUKOYAKA®



IT化に対応したソリューション提供

急性期



Prime Vita Plus

回復期



Prime Creat

慢性期



診療所

Prime Linc

先端医療をリードするアメリカにおけるプレゼンスの確立

3事業の連携、クロスセリングを強化

生体情報モニタ

- ・IDN対策強化※1 → 大手IDNと契約
- ・**10年連続**顧客満足度No.1の継続※2
→ 当社モニタの品質・性能、
トレーニングなどのアフターサービスに高い評価

・新商品の投入



CSM-1901



GZ-130P

2016年発売

・消耗品売上の拡大



SpO₂
プローブ



CO₂測定用
酸素マスク

脳神経系群

- ・全米トップ50病院に注力
- ・新商品の投入



MEE-2000



Live View Panel



コロラド大学病院

救命救急分野



・工場設立

外部委託+自社製造
FDA対応の高い品質管理体制



生体情報モニタ市場シェア10%以上を目指す

※1 IDN: Integrated Delivery Network 総合医療ネットワーク

※2 米国の医療機関に対して、第三者評価会社MD Buylineが実施した調査結果

成長をけん引する新興国市場でのシェア拡大

事業基盤の強化

- ・検体検査機器事業の強化
- ・民間病院市場に注力
- ・政府入札案件の獲得 → エジプトで大口商談受注

上海光電

日本光電
ミドルイースト

日本光電コリア

日本光電
インド

NKSバンコク

日本光電
メキシコ

日本光電マレーシア

日本光電
ラテンアメリカ

日本光電
シンガポール

日本光電
ブラジル

ハイエンド市場

日本製品

esCCO

INBP

synECG 18
Synthesized Electrocardiogram

ミドル&ローエンド市場

上海製品

②コア事業のさらなる成長

2015年、2016年発売の主な商品

臨床検査機器事業

脳神経系群



術中神経機能
モニタリング装置
MEE-2000
2015年米国発売、
2016年国内発売



EEGヘッドセット
AE-120A
2016年発売
(国内)

循環器検査機器群



臨床用ポリグラフ
RMC-5000
2015年発売
(国内)



心電計 ECG-2400
2016年発売



血球計数器
MEK-9100
2016年
発売

検体検査機器



高DNA量
測定装置
FCM-2200
2015年発売
(国内)

ITソリューション

生体情報モニタリング事業

バイタルサインテレメータ



GZ-130P
2015年発売



新興国向け
ベッドサイドモニタ
SVM-7500シリーズ
2015年発売



医用テレメータ
WEP-5250
シリーズ
2016年
発売(国内)



GZ-140P
2016年発売

センサ技術



自動心臓マッサージ装置
RMU-1000
2015年米国発売



救急車搭載
除細動器
TEC-2603
2016年発売(国内)



CPRアシスト
2016年
発売予定



AED-3100
2015年発売

治療機器事業

消耗品・サービス事業

②コア事業のさらなる成長

esCCO

心拍出量の非侵襲・連続モニタリング
心電図とSpO₂を使って推定



欧州、新興国で先行発売

2016年8月日本での治験終了
→国内承認申請の準備中



世界各国でPR

2016年8月
香港で開かれた
世界麻酔学会で
実演デモ

※ esCCO : estimated Continuous Cardiac Output

SpO₂



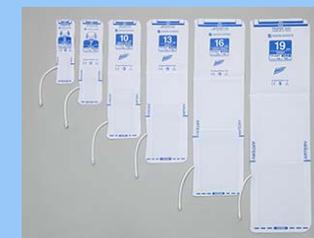
SpO₂を測定するパルスオキシメータの
原理を世界に先駆けて開発



パルスオキシメータ
OLV-4200 2016年発売

日本光電
独自の
センサ技術

速くてやさしい血圧測定 iNIBP



New!
NIBP測定用
ディスポカフ
2016年発売

※ NIBP : 非観血血圧

cap-ONE etCO₂
ORAL NASAL EXPIRATION

世界最小・最軽量クラス
メインストリーム方式
CO₂センサ



CO₂測定用
酸素マスク
2015年発売



CO₂モニタ OLG-3800
2016年発売

治療機器事業

サイト別に生体情報モニタリング事業との連携を強化



**ER/ICU領域での
NCSE※の早期発見**

※非けいれん性てんかん重積状態
(Nonconvulsive Status Epilepticus: NCSE)
原因不明の意識障害の1つ。けいれんを伴わないため、発作
が起きていることが分かりにくい。早期の診断・治療が重要。

New!

EEGヘッドセット
AE-120A
2016年国内発売

簡単な装着で、
迅速に脳波を測定

【脳波モニタリング関連】



脳波計で測定



ベッドサイドモニターで
脳波モニタリング

【救急蘇生関連】

AED Linkage



【麻酔器】



ハイネン・レーヴェン
シュタイン社製

アコマ社と
共同開発

【人工呼吸器】



ハミルトン社製 メラン社製

米開発拠点
オレンジメッドで開発中

消耗品事業

海外への積極展開

生産拡大とコストダウンを推進

【消耗品・保守サービス売上高の推移】



- 消耗品・保守サービスの売上高は着実に拡大
- 特に消耗品の海外展開に注力

消耗品の国内生産拠点を拡充



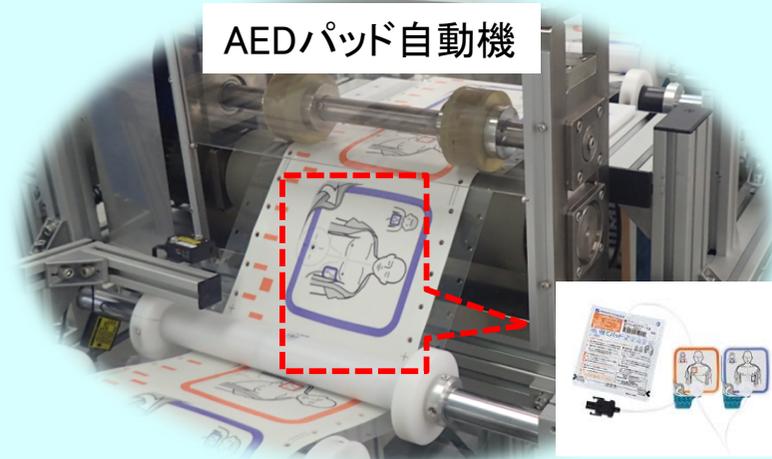
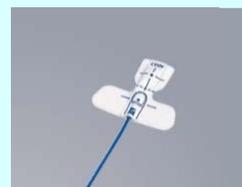
川本事業所



富岡第二工場

- ・消耗品生産に向けた改修工事は完了
- ・AEDパッド自動化生産開始 (2016年度内予定)

SpO₂/CO₂センサ、AED用使い捨てパッド生産の自動化を推進

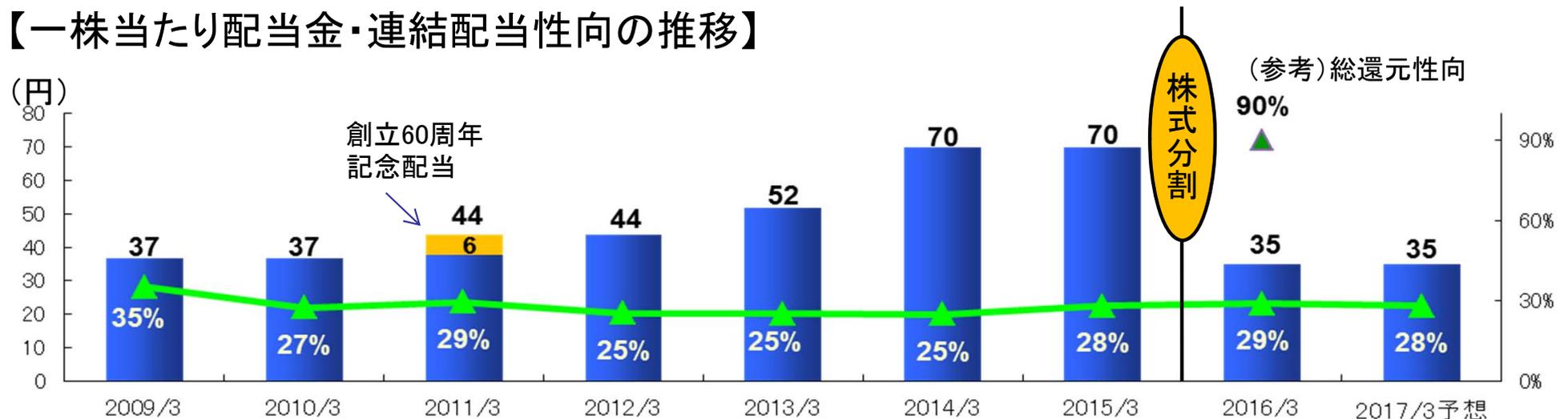


4) 株主還元策

【基本方針】

- 研究開発や設備投資、M&A、人財育成など将来の企業成長に必要な内部留保の確保に配慮し、長期に亘って安定的な配当を継続
- 株主還元は、配当を重視し、連結配当性向30%以上を目標
- 自己株式の取得は機動的に検討

【一株当たり配当金・連結配当性向の推移】



注) 2015年4月1日を効力発生日として株式1株につき2株の株式分割を実施
2015年3月期までの数値は、株式分割前の実際の配当金の額を記載

自己株式の消却・取得状況

2015/5 180万株を消却 + 2015/6、2016/3 計220万株を取得

自己株式保有: 407万株
(持株比率: 4.5%)

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営戦略部

【連絡先】 TEL03-5996-8003